

暮らしを楽しく快適にするリフォームマガジン

DAIKEN
REFORM
MAGAZINE

ダイケンリフォームマガジン



面倒なキッチン掃除はこれで解決！ 不燃壁材『グラ ビオ』で汚れに強いキッチンリフォーム

料理をつくる場所だけに、いつも清潔にしておきたいキッチンですが、毎日使う場所なので汚れやすいのが難点です。特に油汚れは蓄積してしまうと落とすのに大変な手間と時間がかかります。

そこで今回は、効率よくキッチンを掃除する方法や、環境にも優しい素材を使った掃除方法をご紹介しますとともに、汚れを簡単に落とすことが出来て、熱や水にも強いキッチンをつくるためのリフォームについてお話ししたいと思います。

落としにくいキッチンの油汚れが蓄積するのを防ぐには



毎日家族のために美味しい食事を作りたい。手作りの料理で家族の健康管理をしたい。

そんな主婦にとって悩みの種なのがキッチンの油汚れです。

料理をすればするほど油汚れは増えていき、時間の経過とともに落ちにくく、頑固なものとなってしまいます。

コンロのギトギト汚れはもちろん、周りの壁や床にも油はねの跡やベタつきが付着してしまいます。

そうならないためには毎日のちょっとした一手間が必要です。

油汚れの蓄積を防ぐには、料理が終わった後、まだコンロが温かいうちに全体を濡れ布巾でサッと拭くのがおすすめです。

コンロ周りの壁や床、レンジフードなども油が冷えて固まる前に濡れ布巾で拭けば、簡単に汚れが落ちますよ。

鍋などを洗うついでに五徳も外して洗っておくとさらに良いでしょう。

料理のたびにこまめな掃除をするのが理想ですが、現実的にはなかなか難しいものです。

すでに汚れてしまっているコンロや周囲の壁、レンジフードの油汚れを落とすなら、重曹を使って掃除すると良いでしょう。

人にも環境にも優しい！ キッチン掃除には重曹がおすすめ



重曹は、正式名称を「炭酸水素ナトリウム」といいます。

純度の高さによって「医療用」「食用」「工業用（掃除用）」の3種類に分かれていて、一般的に使用するのは、「食用」か「工業用（掃除用）」でしょう。

「食用」としての重曹が発揮する力の中で最もよく知られているのは膨張効果ではないでしょうか。

重曹の膨張効果を利用してケーキを膨らませたり、天ぷらをサクッと仕上げたりするのに役立ちます。重曹は「ベーキングソーダ」という別名でも呼ばれています。

肉のたんぱく質を分解して柔らかくしたり、魚のぬめりや臭みを取ったり、山菜のアクを抜くときなどにも使用できます。口に入れられるものなので安全なことは言うまでもありません。

「工業用（掃除用）」の重曹は最も安価に入手でき、通常の洗剤より安心して使えます。

ただし、食用につくられたものではないため、掃除以外の用途には使わない方が無難です。

では、なぜ重曹で油汚れが落ちるのでしょうか。

実は重曹は弱アルカリ性のため、酸性の油汚れを中和・分解する効果があるのです。

重曹の粉末は研磨剤として使われるくらいなので、油汚れを落とすのにピッタリです。

また、結晶がやわらかめのため、コンロなどの表面に傷をつけにくいという利点もあり、

さらには膨張作用で汚れを浮かせるだけでなく、消臭・吸湿効果もある万能の粉末なのです。

掃除に使用する際は重曹の性質を利用し、そのまま油汚れに重曹を振りかけて、スポンジや布巾で汚れをこすり落とす、重曹に少量の水を加えてペースト状にしたもので優しく磨くなどの掃除方法がおすすめです。

水に溶かしてスプレーボトルに入れば、壁や床などの掃除もしやすくなります。

普段常備している「食用」の重曹で、一度汚れが落ちるかを試してみたいかでしょうか？

リフォームで熱・水・汚れに強いキッチンに！



長年の使用で壁が傷んでいる、汚れがどうしても落ちないといった場合は、もっと簡単に汚れを落とせるキッチンにリフォームしてはいかがでしょうか。

特に油污れにつきやすい周囲の壁をリフォームすると、キッチン全体が見違えるくらい美しくなります。

そこでおすすめしたいのが、DAIKENの熱・水・汚れに強い不燃壁材『グラビオLS<石目・抽象柄>』です。

この壁材は飛び散った油污れの付着や油分をはじく撥油性能のある特殊シート仕上げなので、油によるべとつきを低減させ布巾などで上から軽くおさえるだけで汚れが簡単に拭き取れます。

これなら毎日のお掃除も驚くほど楽になりますね。



また、耐熱性、防火性に優れた鉱物繊維と火山性ガラス質堆積物を原材料とした独自の高性能基材『ダイライト』を素材に使用しているため、調理で火を使うキッチンの壁材としても安心して使えます。

鏡面調仕上げで見た目も美しく、光の加減で表情が様々に変化するのも魅力です。ホワイイト～ダーク系までの多彩な色柄で、イメージチェンジを楽しむのも良いですね。

キッチンリフォームを検討する際は、ぜひ壁材にもこだわりたいですね。



キッチンの油汚れはこまめに掃除するのが一番ですが、ちょっとしたコツや道具を工夫するだけで手間を省いて簡単に掃除することができます。

毎日が忙しい人、掃除が苦手な人は、思い切って掃除しやすいキッチンにリフォームするのも良いと思います。掃除にかかる手間やストレスから解放されることで、料理がもっと楽しくなることでしょう。

【DAIKEN リフォームマガジン 2020年5月号掲載】